

平成27年度 **教育費** 当初予算の概要

川越市の平成27年度一般会計当初予算額は1,104億3,000万円。そのうち、教育費は140億5,499万7,000円で、12.7%を占めています。この予算は、どのように使われるか、その概要をお知らせします。

教育費合計 140億5,499万7,000円



学校給食施設の整備

学校保健費 (51億6,644万1,000円)

学校保健・学校給食に関することに使います。

主な事業

- 学校保健活動の充実
- 学校給食センター運営管理
- 新学校給食センターPFI
アドバイザー業務委託

社会教育費 (23億284万6,000円)

社会教育に関する事業、文化財の保存・整備などに使います。

主な事業

- 川越・地域子どもサポート推進
- 学童保育室運営管理
- 南古谷学童保育室整備
- 時の鐘耐震化
- 山王塚古墳調査
- 河越館跡整備
- 博物館の充実
- 蔵造り資料館耐震化
- 図書館資料の充実



時の鐘耐震化

高等学校費 (7億155万6,000円)

特別支援学校費 (1,834万4,000円)

市立川越高等学校・市立特別支援学校の運営管理などに使います。

主な事業

- 教育情報機器の整備・充実

教育総務費 (25億1,299万1,000円)

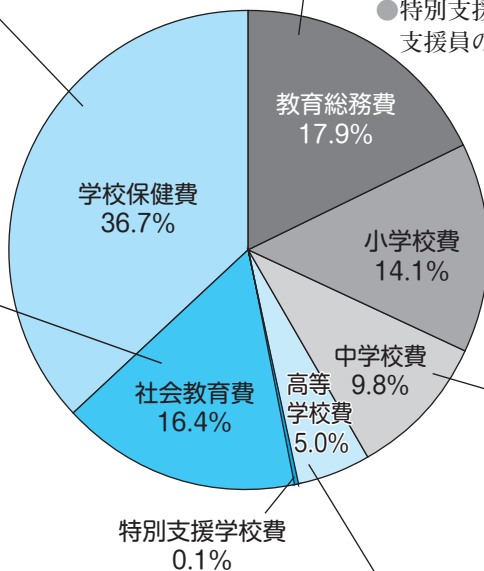
教育委員会全般に関すること、教職員の研修、特色ある学校づくりなどに使います。

主な事業

- スクールソーシャルワーカーの配置
- オールマイティーチャーターの配置
- ネットパトロール
- スクールランチ作戦
- 科学わくわくラーニングプログラム
- 英語指導助手配置
- さわやか相談員の配置
- 特別支援教育
支援員の配置



科学わくわくラーニングプログラム



小学校費 (19億7,840万8,000円)

中学校費 (13億7,441万1,000円)

小中学校の運営管理、施設整備などに使います。

主な事業

- 小中学校施設整備
- 小中学校大規模改造
- 南古谷小学校増築
- 小中学校指導事務
- 小中学校情報教育推進



南古谷小学校増築

学校教育では、各学校のさまざまな課題に対応するための「オールマイティーチャーター配置事業」、いじめ問題や生徒指導上の諸課題に対応するために生徒指導員を配置する「スクールランチ作戦」、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するための「英語指導助手配置事業」を引き続き実施します。また、新学校給食センターの整備を推進します。

主要な事業としては、老朽化した学校施設設備を改修し、教育環境の改善を図るため、「小中学校大規模改造工事、トイレ改修工事」を実施します。また、「学童保育室の運営管理」の充実を図るとともに、老朽化、狭あい化に対応した施設整備を推進します。

新規事業としては、小中学校体育館の照明等の落下を防ぐため、「小中学校非構造部材耐震化改修工事」、課題を抱える児童生徒の背景にある生活環境へ働きかけ、改善していくため、「スクールソーシャルワーカーの配置」のほか、「小学校空調設備設置基礎調査業務委託」、「南古谷小学校の校舎の増築」、「南古谷学童保育室整備」、「時の鐘耐震化」を実施します。

新
規事業・**主**
要事業は…

川越の伝統・文化を子どもたちに伝承していきます

博物館の「子ども体験教室」に参加してみよう！



川越市立博物館では毎月第2・第3土曜日を中心に、「子ども体験教室」を開催しています。この事業は小中学生を対象に、体験活動を通して、多くの子どもたちに、川越の歴史や文化等に興味・関心を持ってもらうことをねらいとして行っているものです。そのうちのいくつかを紹介します。



「和紙作りに挑戦」

和紙の里「小川町」から指導者の方に来ていただき、和紙の原料や作り方を教えてもらいます。その後、紙すきを行い、和紙を作ります。



「ミニ掛け軸作り」

指導者の方から、掛け軸の話聞いた後で、自分の好きな絵を描き、部屋などに飾るミニ掛け軸を作ります



「和楽器体験 ～琴・三味線に挑戦～」

琴と三味線の指導者の方に来ていただき、琴と三味線の演奏の体験をします。指導者の方には模範演奏をしていただきます。



「水引で飾りを作ろう」

贈り物の包み紙などにかける和紙でできたヒモを水引といいます。この水引を使ってきれいな水引飾りを作ります。



★詳細については、川越市立博物館のホームページ (<http://museum.city.kawagoe.saitama.jp/>) をご覧ください。

平成27年度

川越市中学生社会体験事業 ～受け入れについてのご協力のお願～

川越市教育委員会では、中学生が地域の人々とふれあう職場体験活動をととして、勤労観や働く人としての基礎的・基本的な資質や能力を育成し、たくましく豊かに生きる力をはぐくむことをねらいとする「川越市中学生社会体験事業」を実施しております。昨年度は、延べ822事業所のご協力のもと、2,737名の生徒が参加し、貴重な体験をすることができました。

本年度も、実施を予定しておりますので、各中学校が本事業の依頼に伺った際には、ご協力くださいますようお願い申し上げます。また、新たに社会体験活動場所としてご協力いただける場合は、下記までご連絡ください。

問い合わせ：川越市教育委員会教育指導課 生徒指導担当 TEL 224-5483